

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 12日

事業所名 支援センター はーとらいふ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	2			必要時ダンボール部屋や 小テーブル等を活用して いる	今後も児童の意思を聞いて状況に合わせて、 工夫していきたい
	2	職員の配置数は適切である	2				保育士の不足。今後起用予定
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	2			駐車場から玄関までのス ロープ。室内段差等なし 一部スポンジ製マット使 用	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	2			日々、業務の振り 替えりを行っている	継続していく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	2			アンケート結果を把 握し全職員で共有	今後も保護者等の意向を把握し、業務改善 に繋げていきたい
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	2			ホームページにて 公表	継続していく
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている			2		今後、検討していく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	2			県や市の研修に職員が 交互に参加し情報を共有	継続していく
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	2			児童発達管理者を中心 に職員全員で会議を行い 計画書作成に活かしてい る	継続していく
	10	子どもの適応行動の状況を把握するた めに、標準化されたアセスメントツールを使用 している	2				
	11	活動プログラムの立案をチームで行って いる	2			職員が個々で立案し、 全職員で話し合いを行 う	地域との関りを持てるよ活動プログラムに取り 入れたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫し ている	2			児童の意見を取り入 れ、活動に取り入れて いる	今後もプログラムの固定化していかないよう に検討していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	2			長期休暇には、戸外活動 を多くし、課題を決め計画 書を作成している。	日程表を作成し、記録として残している。 今後も継続していく
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	2			子どもの状況に応じ活 動を組み合わせ作成 している	継続していく
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	2			朝礼時に連絡事項 等の確認を行う	継続していく
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	2			業務終了後、1日の振 り返りを行い全職員で 共有	継続していく
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	2			別紙で支援記録簿を 作成し記録。全職員で 共有	継続していく
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デ イサービス計画の見直しの必要性を判断して いる	2			定期的にモニタリング を行い対象児の状況 に応じ見直しを判断	継続していく
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	2			基本活動を組み合わ せ支援を行っている	継続していく

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2			児童発達責任者を中心に行っている	継続していく
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	2			送迎時に担任と情報共有。学校からの手紙をコピーして保管。必要時、学校での会議に参加。	学校で作成されている個別支援計画書等と放課後デイサービス計画書を連携させていく
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	—	—	—		該当児なし
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2			保護者、相談員からの情報を共有。保育園や幼稚園を訪問し児童の様子や担任と情報を共有。	継続していく
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	—	—	—		未だ該当する児童がいない。対象児童がいる場合は情報提供していく
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		2		他事業者との合同研修を行っている	今年度はコロナウイルス感染防止の為、行っていない。今後、継続していく
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			2		今後、検討していく
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			2		今後、検討していく
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	2			送迎時に保護者へ報告。必要時電話連絡・個別面談を行っている	継続していく
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2			保護者からの相談があればその都度対応	継続していく
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2			契約時にわかりやすく説明。必要時にその都度説明を行う	継続していく
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2			相談等があればその都度行っている	継続していく
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			2		コロナウイルス感染拡大防止の為、今年度保護者会の開催を行っていない。今後、状況を見ながら検討
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	2			苦情BOXを設置している。相談や要望があった場合、その都度対応していく	継続していく
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2			毎月、月間は一とらいふを発行し、活動等を配信	継続していく
	35 個人情報に十分注意している	2			起用時に説明し、契約を行う	継続していく
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	2			送迎時に報告している	継続していく
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2			イベントに合わせ近所の方々と交流	コロナウイルス感染拡大防止の為、今年度の開催を行っていない。今後、状況を見ながら検討

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2			マニュアル本を活用し、全職員に周知している	継続していく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2			年2回実施。今年度は、8月(独自)。11月(市の防災訓練時)	継続していく
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2			県や市等の研修に職員が交互に参加	継続していく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	—	—	—		該当児なし
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	—	—	—	事前に確認を行う	該当児なし
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2			事業所内ヒヤリハット集を作成。常時見れるようにしている	継続していく